

成人向  
18↑  
FOR  
ADULT  
ONLY

KAN-COLLE  
FANBOOK

三時のつまみぐい



リコーキャンディ  
LICORICECANDY

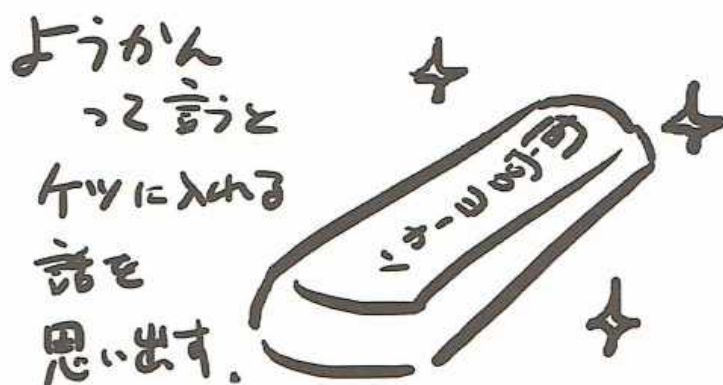


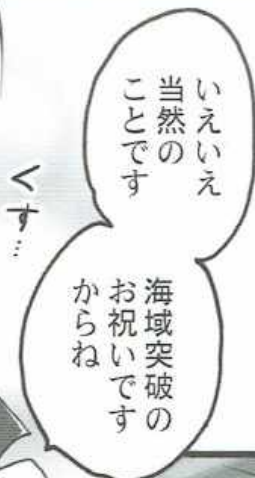
## 前書き

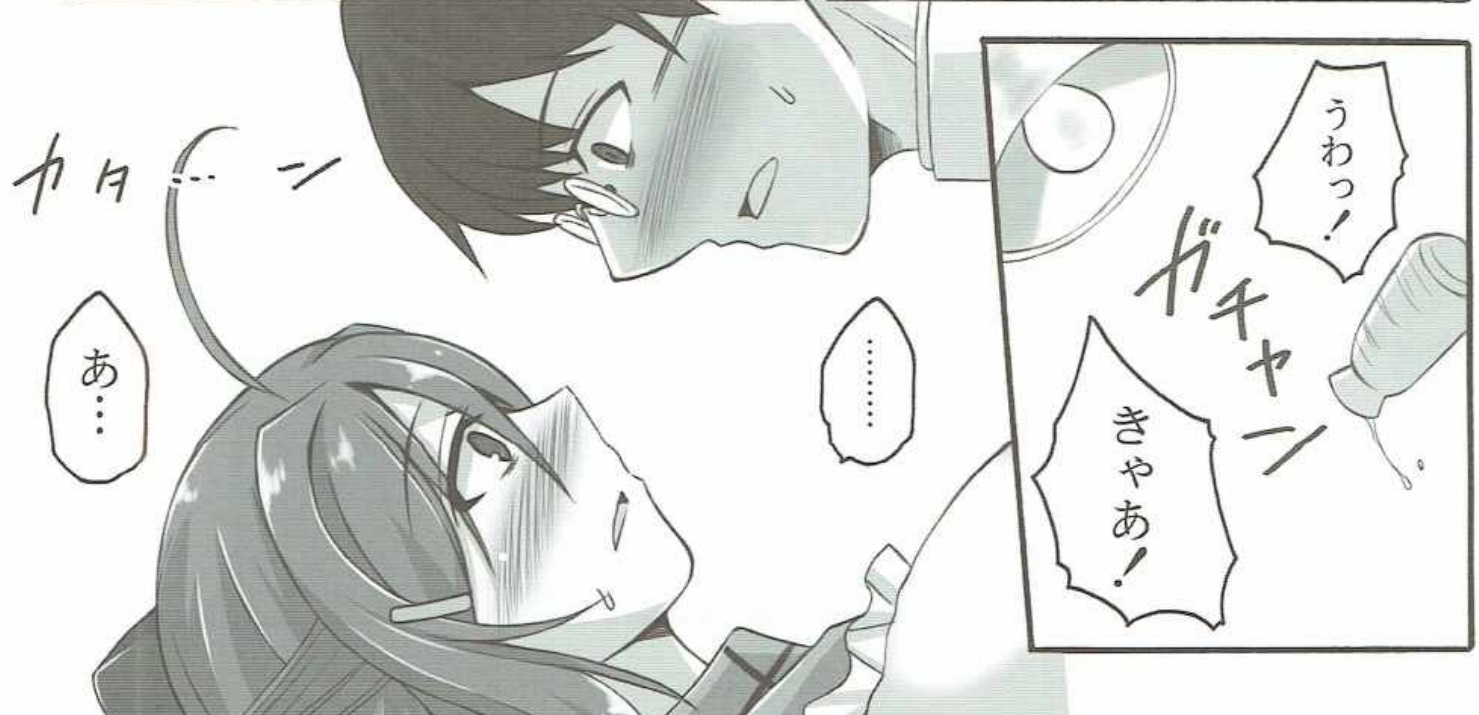
はじめましての方もそうでない方も  
おはようございます。  
久々のオフセです黒甘でございます。

んでさらに久々に艦これ本です。  
一年ぶりくらい？  
間宮さん描きたくなくなったんで  
描いた感じですか。そんな感じ。

いつもより表紙とかストレートにしてみました。  
一回ストレートどころかストライクゾーンから  
思いっきりはみ出して修正しました。  
加減が分からん…  
慣れない事はするものではないね…









て…  
提督…

—すいません  
その…

あ…



うそ…

え？

かま〜

僕は間宮さんを…  
本気で好いています

酒の勢いを…  
借りては  
いますが  
浮ついた  
気持ちでは  
一切ありません



間宮さん

あの…僕は  
あなたに

以前から…  
その…憧れて  
おりました…



本気です！

え…？

もう…！  
そんな冗談  
本気にして  
しまいますよ…



どうか…  
その…  
僕と…

……

本音を言えば  
戦闘で貢献できる  
他の艦娘を  
羨ましくも  
思っており

そんな私を  
提督が選んで  
くれたことに  
浮かれていたの  
でしょう

すし...

綺麗です  
間宮さん

こうして体を  
許してしまっ  
た  
この一夜が

あの...  
それより...

どうか...  
優しく...

はい

パサッ

ハイ

カクッ

カクッ

ドクッ

ドクッ

ドクッ

思えば...  
この一夜が...

あまり...  
見ないで  
下さい...

全ての  
間違いの  
間違ったの  
かもしれ  
ません...

三時のつまみぐい  
黒甘

提督と  
関係を持って  
しまった  
あの日から



こっそりと  
来ていたのは  
提督にとっても  
この関係を  
秘密にしたかったの  
でしょう



お店が終わって  
夜が更けると

提督が  
訪ねてくるたびに  
なりました



だ…  
ダメえ…

そうです  
私たちのことは  
絶対の秘密でした

やあ…

ズム

毎晩のうちに  
提督に抱かれて  
いるんですよ

言えるはずが  
ありませんでした

まだ…店の  
片づけが…





何度も…



そう…  
何度も…



あ…



言った…  
のに…

提督の白濁した  
ものを注がれる度  
私の中に昏い情念が  
強くなるを  
感じていたのです



ダメって…

いけないと  
分かっているながら  
この関係を拒む事が  
私にはどうしても  
出来ませんでした



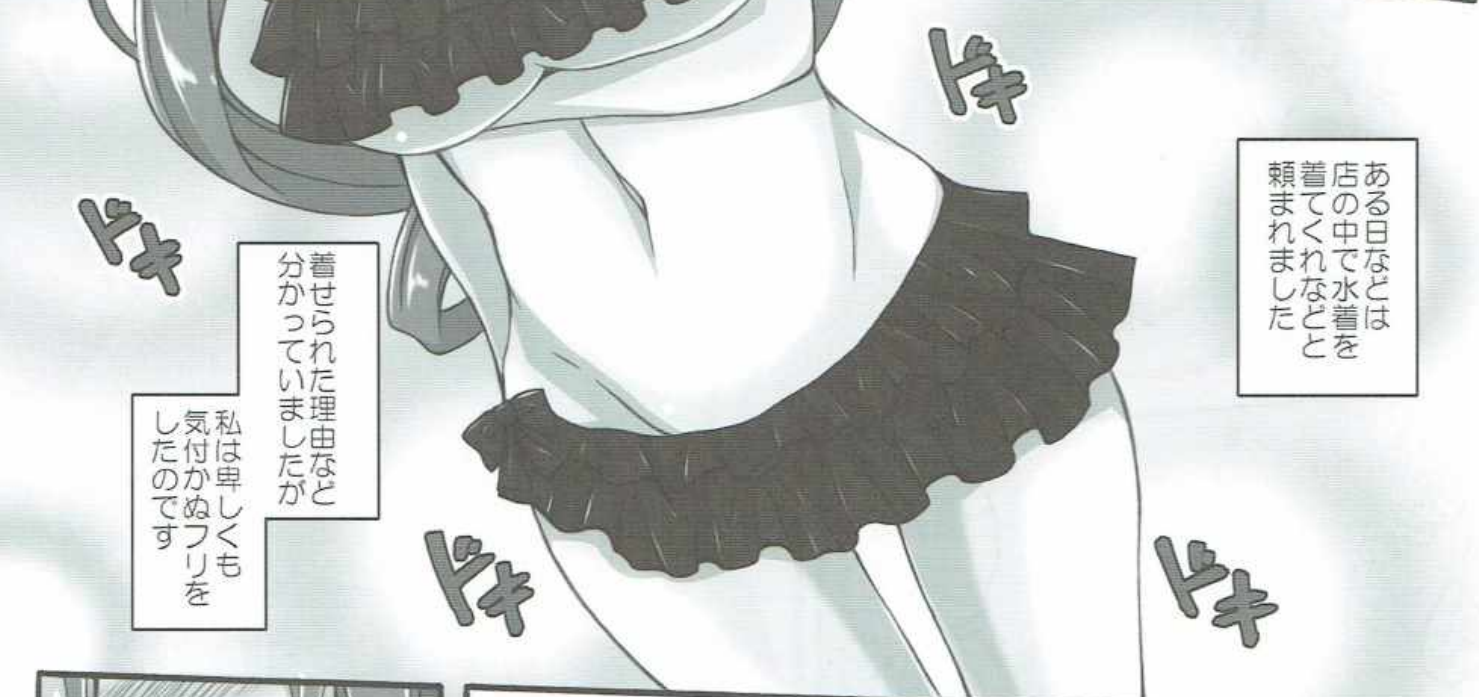
かわいらしい水着ですね

間宮さんに良く似合ってますよ



からかわないで下さい…

何故店の中でこんな…



ある日などは店の中で水着を着てくれなどと頼まれました

着せられた理由など分かっていました

私は卑しくも気付かぬフリをしたのです



プツッ



もっと近くで見せてくれませんか？

ほらこっちへ…

この期に及んでも私は言い訳が欲しかったのでしょう

あ

でもきつと…期待した顔は隠せていなかったと思います







グッ  
グッ  
グッ

グッ  
グッ

グッ  
グッ  
グッ

あ

ビクッ

グッ  
グッ  
グッ

ド

グッ  
グッ  
グッ

行為を重ねるたび  
私は艦娘としての  
姿を剥がされて

一人の雌に  
墮とされていくのを  
感じていました

あ  
あ  
あ

グッ  
グッ

あ





ちよつと今日は  
風邪気味…で





いや確かに  
僕が言った事  
でしたけど

一日よく  
頑張りましたねえ  
間宮さん

しかし倒れるまで  
いつてしまう  
とはね…

ずいぶんと  
感じやすい体  
になりましたね

あ

は

は

ガッ

ひゅん

ガッ

は

ん

ガッ

ガッガッ…



店を閉めさせる  
ことになって  
しまったて申し訳  
なかつたです

いつ…  
いつ…

そんなのいいから…  
早くっ…

ウ

ウ

ウ

ゼン

ウ

ウ

あ

おん



ドキッ

口から出る言葉は  
全く別のもの  
なってしまう...

はっ

それはもう  
いいです  
からあ...

早く...  
ください...

媚びるような顔で  
大股を開いて  
あの人を受け入れ  
ようとしている

はっ

あの子たちに  
合わせる顔がない...  
頭ではそう  
考えていても

ドキッ

ドキッ

あ

もう我慢の  
限界なんです...

んん...

んん...

ドキッ

ドキッ

私の体はもう...  
完全に提督のモノに  
なっていました

あ...あ...あ...

んん...

んん...



始め抵抗のあった  
この行為もすでに  
手馴れていました

提督に仕込まれた  
ものでしたが  
才能があると  
褒めていただけ  
たものです



おろろ環め言葉では  
ないものですが  
誰かこころを  
癒してあげて

私はこの臭いと  
味に夢中になって  
しまったのです





さてそろそろ  
本番といきます  
かね

あ...♡

はずかし...♡

僕ももう  
口じゃ満足  
出来ません  
からね

間宮さんの中を  
じっくり味わわせて  
もらいますよ

あ...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡

ん...♡









あ...

あ...

あ...

第三十六次  
風紀監視定期報告  
赤レンガへ

当鎮守府は  
該当海域の攻略に  
成功せり  
損害軽微

問題...行動は  
特に...見られず

あ

あ

艦娘への対応も...  
非常に紳士的...で

あ

艦娘たちの  
士気高くも  
命令に対しては  
極めて従順

海外からの友軍と  
多少の軋轢が  
見られるが  
問題とは言えぬ程度

時間が解決すると思  
われるが念のため  
注意を払い監視を  
継続する

風紀を乱す  
ことなく...  
品行方正な...  
男で...ある

そして

指揮を取る  
司令官に  
関して



いいのかい？  
しんなやっつて

特に僕に関して  
黙ってていてさ

いいの…  
いいの…

嘘は…  
ついでない  
でしょ？

もしかしたら提督は  
風紀監視員である  
私の正体を見抜いて  
近付いたのかも  
しれません…

当鎮守府の  
提督はあ…

艦娘をとても  
かわいがつて  
くれる…

やん

ずっ

あん

ま

ずっ

でも…そんなこと  
もうどうだって  
いい…

最高のお…  
提督ですから…

ずっ

ずぶっ

あ

この人さえいれば…  
他のことなんて  
もう…どうだって…

A  
—  
—  
—  
—



## 後書き

いつもよりページ数ちょっと増やしただけで  
とんでもない時間がかかって  
泣きそうになってました。

色々悔いは残ったけど  
間宮さんかわいく描けてればいいなー。

さて次は冬コミでございます。  
えらいところに配置されて今から緊張してます。  
頑張ります。  
マジでがんばらないとしぬ…

## 奥付

### 三時のつまみぐい

発行 リコリスキャンディ

発行者 黒甘

発行日 2016年11月13日

印刷 ねこのしっぽ様

18歳未満の青少年によるこの本の閲覧を禁じます。

ご意見、ご感想はこちらまで。

<http://kuroamasanti.blog75.fc2.com/>



**2016.11.13**  
**LICORICECANDY PRESENTS**

**KAN-COLLE**  
**FAN BOOK**

成人向  
**18**↑  
FOR  
ADULT  
ONLY